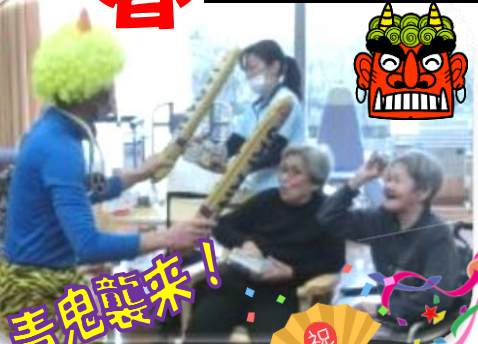


## 春よ来い! 稀有な寒さの中、季節分け目の鬼退治



天下の分け目は関ヶ原。季節の分け目は鬼退治! 史上稀にみる寒波がインフルエンザ・ウィルスを増殖させる中、今年も出ました、青鬼が。立春前日の2月3日(土)ではなく、土曜日休業の鬼は一日前倒しという奇策に出ました。鬼のパンツにイエロー・ヘア。両手に棍棒といういつものいで立ちで。そこに待ち構えるは、デイサービスの男女たち。新聞紙を丸めた「豆」を力いっぱい投げつけ、今年もにつき鬼を成敗したのです。寒さに負けず、元気いっぱい。ところ変わって、各ユニットにも青鬼が出没。極寒に冷えた手でご入居者の手を冷やしていくという悪行を働きます。「イタズラはアカンぞ〜」と、「豆」をぶつけるのはご入居者の方々。流石の鬼も「豆」の雨あられに、たまらずノックダウンしたのです。お見事!

この日の昼食は、もちろん恵方巻。丸かじりとはいきませんが、カットした巻き寿司を、恵方(南南東)へ向かってガブリ。春を引き寄せました。



青鬼襲来!

恵方巻をガブリ



お転婆健在な九十九歳!



福は内!



南南東へ!

恵方巻



参りました ああ〜



Fight!



鬼は外!

福



the Decade



うおずみの十年 十年勤続者が語る

みなさん、こんにちは。高見です。  
あれよあれよという間にすっかり10年経ってました。  
プライベートでは、10年前はまだ小学生と中学生だった我が子も、おかげ様で成人しました。  
さて、2007年11月の開設直前。介護福祉士の資格を取ったばかりの私は、ピカピカのこのうおずみのスタッフとして仲間入りとなりました。

### Vol.3 高見真紀 (IF70ア・リーダー)

思い起こせば、最初は数人の入居者の方々を受け入れることから始まったんです。数々の経験と失敗を繰り返し、10年経った今少しは成長できているでしょうか。自問自答の毎日です。  
現場で働くことは大変ですが、体力の続く限り、介護士として頑張りますよ!

THANKS 10TH ANNIVERSARY

2017



2008







うまい!

子供の頃、父に連れられて海釣りへ行ったものでした。その頃一番よく釣れた印象があるのは今回登場の魚・カレイなのです。平べったくて絶壁が多い日本人にピッタリ。煮て食べると美味しく、小骨を取り除くのが面倒くさいところがタマニキズ。旬は夏ですが、調べると色んな種類があって、冬に旬を迎える品種もあるようです。子供の頃夢中で釣った魚はどの種類だったのでしょうか。Anyway、華麗に召し上がって健やかなる加齢を!



華麗でしょ!

## めにゅう カミングスーン

- 2/14 《バレンタイン・メニュー》  
洋食ワンプレート(ケチャップライス・海老フライ・カニクリームコロッケ・目玉焼き)
- 2/20 《健康米》 緑米入りご飯
- 2/21 《洋食!》 ピラフ、パスタ
- 3/3 《ひな祭りスペシャル》  
ちらし寿司

## 7 丁目介護職員 高野 初美

スタッフ

【生年月日】 昭和 41 年 8 月 13 日

【血液型】 A型

【資格】 介護福祉士

【ひと言】 今まででは病院勤務ばかりで、特養での仕事は初めてですが、よろしくお願いします。



数珠つなぎ



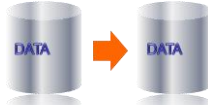
Happy Birthday!

## うおずみ検定

(データ・ファイル)

- 平均年齢 87.1 歳(昭和 5 年生) 最高齢 104 歳、最年少 67 歳。 80 歳代 27 名、90 歳代 21 名様。
- 入居 60 床に対し、1 月 18 日に 200 番目のご入居者様が入居。
- 開設十周年と同時期にご入居十周年をお迎えになった方・・・ 6 名様
- 名前ランキング(ショートステイ・デイサービス定期利用者様を含む)  
女性:①ちえこ(智恵子・千恵子/4 名様)  
②けいこ・かずこ・てるこ・きみこ・みちこ(3 名様)  
男性:①幸雄(2 名様)
- ダントツに多いお名前がなく、様々なお名前の方がいらっしゃいます。
- ちなみに、2008 年 10 月の集計では、女性は「きよこ」、男性は「みのる」が 1 位でした。
- <おまけ> 開設から十年勤続の正職員・・・6 名

これで 貴方も うおずみ通



立春



ご入居十周年!

Congratulations!

▲ご入居十周年の表彰をさせていただきます。

④デイサービスにてカラオケ熱唱中!



### ◆ ◆ ◆ これからのうおずみ ◆ ◆ ◆

- 2 月 21 日(水) 《日本理美容福祉協会》訪問理美容サービス
- 23 日(金) 《うおずみシネマクラブ》13:30~(地)
- 27 日(火) 《うおずみ大学/ペン習字講座》13:45~(地)

編集後記

インフルエンザは「流行」。がんの進行分類を「ステージ」。悪者のたとえに、なんてカッコイイ言葉をあてがうのでしょう。

先日、好きな関西弁は何かとラジオで論じていましたが、私の場合は「アカン」。「ステージ」等とは対照的で、実にネガティブな言葉です。うちの長女が 2 歳時に保育園へ登園し始めた頃、保育士の方へ預けて辞去するとき「行ったらアカン!」と、いつも号泣したものです。まさに後ろ髪をひかれる想いでした。ところが、今では父親失脚。入ってきたら「アカン」、見たら「アカン」と拒否られる始末。夢の中では、憧れの美女が「アカン」と意味深に吐息を...?

皆様、インフルの「流行」には乗ったら「アカン」!!

実習生(高校生)も交えお誕生日祝い!

